

京大教養無期限ストに突入!

全市大の学友諸君、今や京大斗争は、全国学園斗争の歴史的轉変に規定され、個別改良斗争の枠を突破し、大学に位置する学生の存在にならざる。自己否定の斗いとして展開されている。東大斗争の一年間を、なくも短き、激動の二週間ぐに体現せしめた原因は何であつたのか? 国大路線の維持・強化を図る東大・京大の、帝大の根本的矛盾が、ふだんに露呈し、暴露されているが故にである。

学生部封鎖を、突撃隊で実力排除し、大学当局と一体となつて、大学自治は守られたと無邪気に喜んでいた日共民衆の斗争庄殺は、逆に、現大学機構(教授会専制)その社会的機能(マルショア下土層の養成)の崩壊を全面的に招きこせる結果となつたのである。

昨日、教養代議員大会で圧倒的に決定された教養無期限スト突入は、現大学の根本的矛盾に対し、非妥協的、永続的斗いの新しい出発点に外ならない。大学改革をめぐり、その斗いを目前存在をふけた斗いに身を処するのな? 既存体制と大学自治、教授会専制自治の枠を維持し、あらゆる斗争を黙認し、庄殺するのな? 問いはなくこの二つを露せられているのだ。

京大の圧倒的學生は、このふたつの斗いの由発と、大学自主管理・試験ホィコント斗争の斗いの進歩を開始した。

我々は、京大斗争を最も主体的に斗つていく京大統一会議、京大の全ての斗争学友諸君と連帯し、全国学園斗争を斗い抜くやではなない、京大教養無期限ストと連帯し、全国学園斗争を勝利せよ!

統一会議